

# ヴィーブル & コミュニティ情報

申し込み・問い合わせ先 **ヴィーブル** ☎248-5555  
 トレーニングルームと歴史資料館は点検のため、2月29日(土)が休館日です。

## 野口チカ子さんの『この辺の昔話』展

熊日新聞販売センターのミニコミ紙『ゆうあいネット』に連載された、『チカばあちゃんのこの辺の昔話』を展示します。地域に伝わる昔話や地名の由来、行事などが紹介されています。



▼**展示期間** 2月11日(火・祝)～4月10日(金)  
 ▼**ところ** ヴィーブル3階 歴史資料館

## みずき台グラウンドの使用予約を再開します

みずき台グラウンドの使用を再開します。

▼**予約開始日** 3月15日(日)  
 ▼**使用開始日** 4月1日(水)  
 ▼**予約場所** 予約開始日はグラウンド施設予約の基準日(毎月15日)のため、ヴィーブルで受け付けます。その他の日は御代志市民センターでも受け付けできます。

※ナイター使用の受け付けがヴィーブル受付窓口のみになります。使用料に変更はありません。

## 2月の市民講座 福祉講座

親が高齢で介護のことが心配、自分の体力に自信が持てないなどの不安を少しでも解決し、輝きを増してもらうための介護セミナーです。自分のために家族のために、今から知っておきたい介護のことを学びます。参加費無料・申し込み不要です。皆さんお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

▼**とき** 2月27日(木) 午前10時  
 (受付 午前9時30分)  
 ▼**ところ** ヴィーブル 文化会館  
 ▼**内容** 演題 『自分のための家族のための介護セミナー』  
 講師 公益社団法人 日本介護福祉士会 会長 石本 淳也さん



各部屋の名称と使用料金

使用区分		使用料(円/時間)	
		市内団体	市外団体
多目的室	全室	150	450
調理実習室	全室	200	600
大研修室	全室	300	900
小研修室(1階)	全室	100	300
小研修室(2階)	全室	100	300
大広間	全室	400	1200
空調(冷暖房)使用料	1台	100	

※入館料は廃止します。大広間は有料で貸し出す部屋となります。(カラオケ機・マッサージチェアはなくなります)

## 4月から みどり館が栄市民センターに変わります

地域の文化・交流活動の拠点として住民生活を活性化させることを目的に、福祉センターみどり館は、4月1日から栄市民センターみどり館に変わります。

あわせて地域の共同体(栄コミュニティ)を形成し、近隣の住民が集い、つながりを深める活動の場として活用することが計画されています。

休館日や各部屋などの使用方法、料金などが変わります。  
 ※詳しくはお尋ねください。

▼**名称** 栄市民センター みどり館  
 ▼**休館日** 月曜日(月曜日が祝日の時は翌平日)、年末年始  
 ▼**開館時間** 午前8時30分～午後10時  
 ※各部屋の利用は午前9時～午後10時。  
 ▼**受付時間** 平日 午前8時30分～午後5時  
 ▼**問い合わせ先** 生涯学習課 ☎(248)5555

## 地域の新しい防災拠点 黒石市民センターまもなくオープン

地域のコミュニティ活動の拠点、市民の運動や文化活動の場として長年親しまれてきた黒石市民センターは、4月1日から、みずき台グラウンドの横(須屋2811番地2)に、防災教育の拠点を兼ねた新しい施設として生まれ変わります。

調理実習室や多目的室など、部屋の機能や数も増加。災害時には要配慮者、要支援者を含めた地域住民の避難スペースを確保し、防災用井戸、マンホールトイレ(貯留型)、貯水機能付き給水管などの防災設備を活用する指定避難所となります。

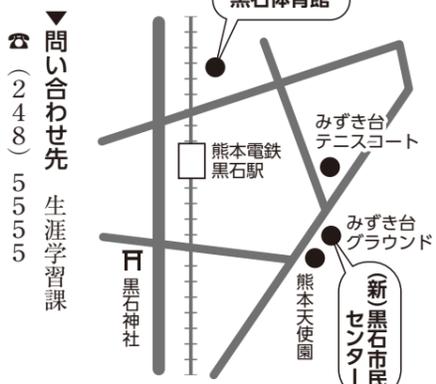
利用受付開始  
 市内団体の4月と5月の利用の申請を3月3日(火)から開始します。  
 市外団体の4月利用分は3月3日(火)から、5月利用分は4月1日(水)から開始します。

### 黒石体育館

黒石市民センターの体育館は黒石体育館という名称に変わり、建物はそのまま残ります。体育館の利用申請は、3月から新しい黒石市民センターで受け付けます。  
 ※詳しくはお尋ねください。

各部屋の名称と使用料金

使用区分		使用料(円/時間)	
		市内団体	市外団体
和室	全室	100	300
研修室1	全室	100	300
研修室2	全室	100	300
研修室3	全室	100	300
音楽室	全室	150	450
多目的室	全室	200	600
調理実習室	全室	200	600
空調(冷暖房)使用料	1台	100	
放送設備使用料	1回(1日)	500	



▼**問い合わせ先** 生涯学習課 ☎(248)5555

### 椋短歌会

塚本 諄選

父と子がボール投げ合ふ声ひびく明るい声  
と野太い声と 内田 隆子  
ゆたかなる熊本弁が交差する朝の外來待合室は 大石富久美  
歩く事始めし幼きながらに探検家のごと恐れを知らず 大住 保子  
お買い物カート引き歩む同じ道金木犀の香りに満ちて 木場 幸子  
この朝の霜の白さよ寒ながらすずめ膨れて梅の枝にある 財津すえみ  
早朝に鴉の声聞こえくる何かを世間に伝えるように 高田 絃子  
生の隅をほのかに照らす灯のごとし昏れゆく庭のつばぶきの黄 高橋 愛子  
すべり台這いつつ登る男の子補装具つけた細き足みゆ 田中美代子  
秋空にふわりとひとつ浮かぶ雲今日の一日如何に過ぎさん 馬場 慎也  
通りまで雑草はびこる空き家あり希望あふる時もありしに 松坂 成子  
密やかな香に見上ぐれば仄暗き葉間に白き柘の花 村上紀美子  
風が吹きファンファールのごとく散る社の銀杏円座の乱舞 塚本 諄

### 合志句会

永村 典子選

遺されし者に賜る小春かな 典子  
啄木鳥のリズムに風の動きけり 雅美  
名木に孤を巻きたる今朝の冬 静子  
山の端に星一つあり冬近し 好子  
パソコンの思ふままなる良夜かな 美津子  
村里に干柿日和続きをり 則子  
家中の鉛筆削る文化の日 節代  
懸崖の小菊枝まで香りたる 聖恵  
ふる里は菊匂ひ立つ城下町 あや子

### 肥後狂句 どんぐり塾 安藤 玄白整理

心残り 読みなし捨てたラブレター 真秀子  
いんま見とれ 俺が社長でこき使う 正巳  
道の駅 しゃん無理降ろすバスツアー つぎを  
思ったごとく書いて良かてな言わすけど 二日坊  
思ったごとく 生きて来たくせ何言うか 山行  
ひき合はん 会費よりこまか賞品 昭雄  
ひき合はん 親看ても遺産均等 与三郎  
楽天天家 出世どま考えとらん 明子  
楽天天家 百まできつと生きたらず 矩子  
ハイよし 言うまでちゃんと守るボチ 絹子  
ハイよし 脳味噌以外異常なし 玄白